

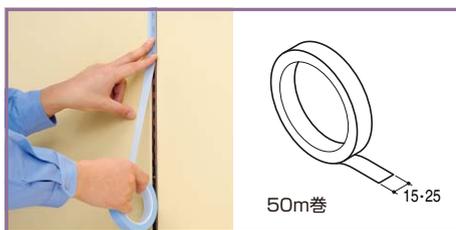


RSZ
チャンネルサポート連結用治具
クローム (仕切価格)
750円



HZ
チャンネルサポート補強用座金
透明樹脂
¥80 (1個当たり定価)

販売単位
10個



SFP
サポートマスキングテープ
呼び名 (巾) 仕切価格
15mm (シングル用) 830円
25mm (ダブル用) 1350円

50m巻 15・25

壁面造作の塗装仕上げの場合、養生に使用するマスキングテープの種類によっては塗料が浸透して、テープを剥がす際に、サポート表面の仕上げがガガしてしまうケースがあります。「サポートマスキングテープ」は、耐水性で内装仕上げの塗料の浸透を防ぐ専用養生テープです。



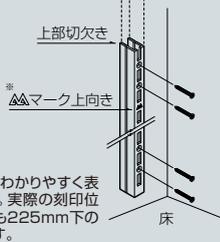
サポート

- タッピング
- 下地材
- チャンネルサポート
- 爪付きボルト
- アルミカーサポート
- ケース用サポート
- 角スリットパイプ
- 丸スリットパイプ
- スリットパイプ用パイプ
- 壁面取付セット
- スパットボール
- パーティクルユニット

※上記品番は、参考選択例です。

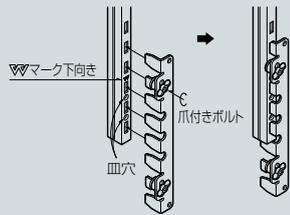
ジョイントサポートとチャンネルサポート連結の取り付け手順

①ジョイントサポートを切欠きされた側の小口を上にして取り付けてください。

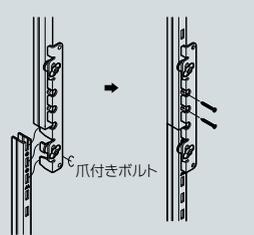


※紙面の都合上わかりやすく表記しています。実際の刻印位置は上記よりも225mm下の位置にあります。

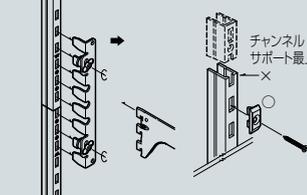
②チャンネルサポートは上下逆にして皿穴を避けた位置に連結用治具RSZを爪付きボルトで固定してください。(治具は爪は下向き)



③手順①に②をはめ込んで、爪付きボルトで固定し、ビス止めをしてください。(治具の爪は下向き)



④爪付きボルトを緩めて連結用治具RSZを外して連結部にブラケットが確実に入るか確認ください。なお上部サポートにHZ(補強座金)を使用する場合は、スリット穴が欠落していないスリット穴をご利用ください。



※チャンネルサポートASF-10・AWF-15の最上部断面は、製造工程上、通常のスリット穴部より分厚くなっているため、誤って床側に取り付けられますと、連結部のスリット穴にブラケットの爪が確実に落ち込まず危険です。その為、ASJ-10・AWJ-15を床側に取り付け、ASF-10・AWF-15は必ず“上下逆使い”にて天井側に取り付けする必要があります。

※連結部では、施工時のピッチや左右のスレによるブラケット装着不備などトラブルを防止する為、専用治具RSZを使用しての取り付けをおすすめします。

※連結部でのブラケット使用時は耐荷重が約30%低下いたします。

※高さ調整では、天井側に取り付けられるASF-10・AWF-15の切断が必要なケースが発生しますが、切断寸法によっては、所定のビス穴(225mmピッチ)が上部に確保できない場合があります。その際、最上部となるスリット穴を利用してビス固定が可能なHZをご使用ください。但し、通常のスリット穴への固定より、約10%耐荷重が低下しますので設計段階からご注意ください。

設計上の情報 クローム・ニッケル・ゴールド

左記パターン価格表示製品は、一部製品を除き弊社オリジナルカラー対応いたします。詳しくは9970参照

設計上の注意 使用するサポート、使用する棚受によって安全自重重量が違います。設計段階から陳列商品の重量を考慮して適正な製品をご選択ください。(9980参照)

設計上の注意 サポートを固定する下地材は必ず適合する弊社製スタッド、またはしっかりとした木下地をご指定ください。他社製(0.8mm厚未満)では耐荷重が低下します。

設計上の注意 サポートスパン内で独立した棚割(内々仕様)をする場合はシングルサポートとダブルサポートの併用が必要です。(但し外々仕様・内々連結仕様の場合はWサポートは不要)

設計上の注意 ダブルスリットではパイプ用振れ止め(PL加工・TPL加工:9560参照)は同一レベルでは使用できませんので設計段階からご注意ください。

施工上の注意 タッピングビスは下地材に適合した製品をお選びください。(特に弊社製ドリル付きタッピングは弊社製スタッド専用です。市販スタッドへの使用は肉厚が薄すぎるため危険です)

発注上の注意 ご注文は弊社専用発注書に必要事項を正確にのり無印で記入頂き、FAXでお願いいたします。記入もれや判別困難は確認を要するなど手配が遅れる原因となります。(9955参照)

施工上の注意 切断面 切断加工品は切断面でのケガや破損事故などない様に、きれいに面取り加工をするか何らかの保護材で覆い、安全を確保してからご使用ください。

施工上の注意 タッピングビスは適正工具・適正トルクで正しく取り付けてください。過剰トルクではビス頭部弱体化による耐荷重低下やドライバー溝破損による取り付け失敗の恐れがあります。

施工上の注意 まびき ビス穴は間引いたりせず全てビスもみしてください。間引いた場合耐荷重が著しく低下、及び壁面ゆがみの原因となります。

施工上の注意 タッピングビスは正確にまっすぐ取り付けてください。はみ出した頭や斜めになったビス本体で棚受けの爪をしっかりスリット穴に装着する事ができず、耐荷重低下の恐れがあります。

施工上の注意 柱の取り付け施工は上下を間違えず、水平・平行を正確に出して行ってください。精度が低い場合、棚などの可動困難やガタつき、不確実装着による突然落下の恐れがあります。

施工上の注意 湿気養生 接着剤・酸性薬品や水分は錆の原因となります。また、養生は必ず専用の微粘着性のものをご使用ください。ガムテープや乾燥後のクロス剥がしは、塗装製品の場合剥がれの原因となります。

発注上の注意 切断? ASF-1 180mm FAX サポートのサイズは通常より若干長設定されている場合がありますのでご注文の際はご注意ください。(例:ASF-1を1800とご注文された場合20mm切断いたします)